



受付第 05A1567 号
受付日：平成 17 年 8 月 29 日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成 17 年 9 月 15 日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 2 番 20 号

試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋 7 1 7 番 1 号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：ワンレンチ I 羽子板ボルト 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：幅 40mm、厚さ 3.2mm の鋼板添え板に長さ 190mm のボルト（ねじ部 M12）を溶接接合したもの（図－3 参照） 材質：板部；SPHC (JIS G 3131)、ボルト部；SWRM 10 (JIS G 3505) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 2. 接合具 角根平頭ボルト M12×130： 長さ；130mm、ねじ部の長さ；M12×70mm、胴部径；10.6mm 材質；SWRM 10、表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C トリニティー丸座金 φ45×4.5t： 座金；外径 45mm、厚さ 4.5mm、材質 SPHC ばね座金；M12 用、材質 SW-B (JIS G 3521) トリニティーナット M12；M12 用、材質 SWCH 10A (JIS G 3539) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 3. 使用軸組 柱及び横架材：樹種；すぎ、寸法；105×105mm 4. 試験体数 7 体（うち 1 体は予備試験体） 参照：図－1～図－3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室、企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の 2 章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表－1 に示す。
試験結果	短期基準引張耐力 (Pot)：10.2 kN 耐力算定基礎資料：表－2 荷重－変位曲線：図－4 及び 図－5 破壊状況：写真－1～写真－6
備考	当該試験結果は、平成 12 年建設省告示第 1460 号表三（へ）に定める 10 kN 用引き寄せ金物（必要耐力 10.0 kN）に該当する。
試験期間	平成 17 年 9 月 5 日 ～ 6 日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 仁 試験実施者 室 星 啓 和
試験場所	中央試験所